



学校だより

5月号 (第190号)

令和5年4月28日発行
横浜市立並木中央小学校
学校長 齋藤 由美子

一瞬を見逃さず伸ばしたい

校長 齋藤 由美子

新緑の美しい季節になりました。「おはようございます!」「おはようございます!」今年の1年生も挨拶上手な子どもが多いです。目を見て元気に挨拶する子どもの姿に、私は嬉しくなります。「家でも挨拶の大切さを教わっているのだろうなあ。」と、ご家庭の教育力を考えながら登校指導をしています。大人も子どもも挨拶は基本。学校教育目標の柱の1つ「豊かなコミュニケーションを育てます」に直結する行動です。大人も子どもも、学校でも地域でも、気持ちのよい挨拶をしましょう。

さて、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症へ移行されることになっておりますが、学校では、4月から市教育委員会からの通知に沿って、コロナ禍以前の活動に戻りつつあります。もちろん、全て元に戻すという意味ではありませんが、制限のない活動の場面からは、学校がめざす子どもの姿がキラッと光ります。学校は、この一瞬を見逃さず、子どもたちに価値づけ、さらに伸ばしていきたいと考えています。

～言葉の力と優しさで、下学年をリードする姿～



全校遠足に向けたたてわり活動では、下学年を優しくサポートする姿がありました。6年生がしっかりリードする姿を見せると、それを他学年の子どもも見習ってその下の子どもたちをリードします。

並木中央小の伝統なり!



コミュニケーション力

～音色の美しさに思わずつぶやく～

コロナ禍は中止していた、初めてリコーダーと出会う子どもたち向けの講習会。講師の方が大きさのちがう8種類のリコーダーを演奏してくださいと、「感動する…」というつぶやき。きれいなもの、よいものに触れ、素直に感じることでできる心が育っています。興味が学びとなり、自信につながりますように…。



興味から自信へ